



校長室の窓から

「知識から教養へ」

先日、ある新聞を読んでいるとお茶の水女子大学名誉教授の藤原正彦先生が次のような内容のことを書かれていました。

「ネットには無限の情報があるが、99.999%はそのままでは何の役にも立たない情報だ。正しく選択してこそ情報は生きる。その点、新聞は無限にある情報の中で、何が本質的なものを示し、正しく方向付けてくれる。そして、新聞で身につけた知識を、読書によって組織化して、教養にまで高めることができる。この段階を踏むことが重要なのだ。」

この記事を読んで、ネットにおける情報の扱い方やその生かし方について確認するとともに、新聞などの活字文化の役割や読書の重要性を改めて感じたところでした。さらに気になったのが「知識を教養にまで高める」という言葉です。そこで、「教養」について少し調べてみました。まず、広辞苑によると

- 1) 教え育てること
- 2) 学術・芸術などにより人間性・知性を高めること。その基礎となる文化的・知識・振る舞い方などは時代や民族の文化理念の変遷に応じて異なる。

とありました。この表現では少しわかりにくいのでもう少し調べていると、テレビなどで社会問題などをわかりやすく説明されることに定評のある池上彰氏が「すぐに使えない知識が教養である」と言われていました。さらに、池上氏は「すぐに役に立つものはすぐに役に立たなくなる。答えが決まっているような通りいっぺんの知識を身につけるのではなく『教養』を身につけて自ら問題解決にあたれる人材にならなければいけない」と言われています。

ここでの問題解決力とは、まさに今必要とされている力です。今すぐ役に立たなくても将来役にたつかもしれない知識や経験、体験をいかに多く積むことができるかが大事だと思います。そして、その最適の時期は小中高あるいは大学などの学生時代だと思います。広い視野で学ぶ高校や大学の一般教養までが身に付け

やすいと思うのです。ちなみに、大学での一般教養科目ができたのは戦後だそうです。戦前の大学教育は細分化された専門教育のみに力を入れた結果、広い視野や長い歴史を見渡したスケールの大きい判断力を持たないまま要職に就いた人たちが戦争突入という悲劇をもたらしたという考えをもとに「一般教養」が始まったと聞いています。

さらに、東京大学大学院の藤木裕子教授は

「日本では、物知りが教養人であり、歴史や文学、芸術などの雑学的な知識を増やすことが、教養を身につけることだと誤解しています。インターネットなどを通じて世界中の情報に簡単にアクセスすることができる現代において、情報や知識を持つことの価値は低下しています。現代では、情報を選別し情報を結びつけて活用し、情報をもとに考える力としての教養が求められているのです。」とされています。

つまり、情報を受け身で捉えるのではなく、常に「なぜ？」と日常の些細なことに疑問をもって、能動的な学びとして生かすことが大事だと思います。さらに言うと、情報と情報を結びつけることによって「自分なりの答え」を考えることが大事だと思うのです。本当の学び、真の教養を身に付けるためには、自分のこれまでの考えを乗り越えていくことが必要であり、さまざまな分野に関心を持ち、自分とは考えの違う人と意見を交わす場を作り、異なる意見を尊重し、耳を傾け、新しい価値観を生み出していくことが大事です。

人は一生をかけて、さまざまな知識や多様な考えと出会い、ぶつかり合い、思考を深め、新しい考えを生み出すことで激動の現代を生き抜く力を培っていくのではないのでしょうか。常に、「なぜ？」を意識しながら「自分の頭で考える習慣を持つ」ことを大事にして生活したいものです。



人生の達人セミナー

10月6日(火)、長崎県にゆかりがあり、社会の第一線で活躍されている方からの経験を交えた実社会の厳しさ等の話を通して、たくましく生き抜く力を身につけさせるとともに、人生観や倫理観、職業観の醸成に寄与する目的で「人生の達人セミナー」を開催しました。今年度は本校卒業生であり、株式会社ヒューマングループ代表取締役の内海和憲さんをお招きし、「リスペクト～知と心を磨く～」と題してご講演をいただきました。

講演の中で、内海先生が世界各国を訪れたことやその土地での多くの人と出会いを経験なさったというお話は、生徒にグローバルな視点と出会いの大切さを教えていただきました。また、トイレ掃除のお話は、「当たり前のことを当たり前にする」ことが人に様々なことを気づかせてくれるという、「凡事徹底」を信念としてきた内海先生しか語りえないお話で、生徒も真剣に耳を傾けていました。

内海先生の熱い「リスペクト」のメッセージが、生徒の胸にしっかりと刻まれたかと思います。

詳しい情報やその他写真についてはこちらへアクセス



地域清掃



10月7日(水)に1・2年生で地域清掃を行いました。今年度は新型コロナウイルス感染症対策として、校外での生徒の密集を避けるため、主に1年生が学校敷地内を、2年生が校外の通学路や日宇駅周辺、日宇川、もみじヶ丘公園など、学校近隣の各所をクラスごとに分かれて清掃しました。胴付き長靴を履いて川に入り楽しそうに掃除をする生徒、道端に落ちているゴミをじっくり探し丁寧に集める生徒、校内の草を刈ったり落ち葉を集めたりする生徒など、それぞれの担当場所で一生懸命に取り組む生徒たちの姿が見られました。清掃活動終了後には生活美化委員長の川原千尋さんが講評を行い、「今回の活動を通して、普段の生活の中で私たちがゴミを捨てないこと、また、落ちているゴミを拾うという行動を心がけていきましょう。」と呼びかけました。

今回の活動を通して、生徒たち一人ひとりが美化に関する意識を高め、心豊かな情操を磨ききっかけになってくれるものと思います。

国際大での模擬試験受験



10月10日(土)に長崎国際大学をお借りして、3年生を対象とした10月進研記述模試を実施しました。長崎国際大学は、来年1月16・17日に実施される大学入学共通テストの会場になる可能性が高いと考えられます。そのため、長崎国際大学の雰囲気を感じながら共通テスト本番に向けたシミュレーションができたことは、大きな意義があったと考えています。生徒たちが問題に対して最後まで諦めることなく、必死に考える姿が印象的でした。

高大連携 出張講義



本校にてリモート開催

10月15日(木)、本校2年生を対象に高大連携講座が実施されました。長崎大学の多文化社会学部、情報データ科学部、環境科学部の3学部から3名の先生に講義を行っていただきました。今年は新型コロナの影響で、対面講座ではなく、リモートによる講座となりました。それぞれの学部学科の紹介や、大学の模擬授業などを行っていただきました。受講した生徒の多くが、学問の奥深さを知り、大学進学への意志が強くなったようです。最後の質疑応答では多くの質問が出るなど、生徒たちは熱心に参加していました。今回の機会を経て、進路実現に向けて、生徒自身が今後さらに努力してくれることを期待しています。



第二回 オープンスクール

コロナ感染拡大防止対策のため第1回のオープンスクールは、webを活用したオンラインの形式で8月に実施しました。第2回は、10月12日(月)と17日(土)の2回に分けて佐世保南高校の体育館や校舎で実施したところ、市内外から多くの中学生の皆さんが参加してくださいました。吹奏楽やバトン部による歓迎演奏から始まり、入試説明や校内案内、部活動見学などをおこないました。密にならない工夫や消毒、検温、マスクの着用徹底など例年とは勝手の異なる状況ではありましたが、志願して手伝ってくれた約100名の本校生徒たちが中心となって実施され、本校の魅力が十分伝わった充実した内容になりました。



新人戦結果 (その1) ※ 次号に追加掲載します。

部活動名	大会名	結果
サッカー	全国高校サッカー選手権大会	【リーグ戦】 佐世保南 2-2 島原中央高校(PK 5-6)
硬式テニス 女	県新人戦	団体戦：1回戦(対 西陵 1-2 負け) 個人戦：S 山口 2回戦敗退(他5人は1回戦敗退) ：D 4ペアとも1回戦敗退
硬式テニス 男	県新人戦	団体戦：1回戦(対 佐世保北 1-2 負け) 個人戦：S 村山 3回戦敗退 宮崎 2回戦敗退(他4名初戦敗退) ：D 藤瀬・北原 2回戦敗退(他3ペア初戦敗退)
女子バスケ	ウインターカップ	2回戦 対 長崎明誠 3回戦 対 長崎東 4回線 対 鎮西高校 準決勝 対 長崎商業 結果3位
男子バスケ	長崎新聞社杯	1回戦 佐世保南 71-53 沓崎高校 2回戦 佐世保南 41-57 佐世保西
女子バドミントン	地区新人戦	団体戦 対 佐世保西 2-3 負け 個人戦ダブルス 中島・石本ペア ベスト8→県新人戦出場権獲得 島尾・衣川ペア ベスト12→県新人戦出場権獲得
男子バドミントン	地区新人戦	団体戦 3位 1回戦 佐世保南 3-0 九州文化学園 2回戦 佐世保南 0-3 佐世保実業 ※準決勝 (順位決め 佐世保南 1-3 佐世保工業)
女子バレー	地区新人戦	【リーグ戦】 佐世保南 2-0 宇久 佐世保南 1-2 猶興館 【トーナメント】 1回戦 佐世保南 0-2 佐世保実業
男子バレー	地区新人戦	【予選リーグ】 佐世保南 2-0 鹿町工業 佐世保南 2-0 上五島 【決勝トーナメント】 佐世保南 2-0 沓崎 佐世保南 2-0 佐世保北 佐世保南 2-0 佐世保実業 優勝
陸上	地区新人戦	男子4×100mR 8位 (稲田・松山・中尾・桑野) 男子4×400mR 7位 (山本・草村・富永・富田) 女子4×100mR 5位 (渡部・中尾優・中尾桃・中島) 男子100m 8位 松山慶亮 女子100m 3位 渡部麻乃佳 6位 中尾優花 女子800m 8位 多久島紫花 女子1500m 8位 多久島紫花 女子3000m 8位 一瀬帆乃花
卓球	地区新人戦	【団体】 男子 3位 女子 準優勝 【個人】 男子 北村洋人(2年) ベスト8 女子 北野雅詩(2年) ベスト4 田口円海(1年) ベスト8
野球	九州地区高等学校野球長崎大会	1回戦 13対12 長崎明誠 勝ち 2回戦 延長12回 2対3 川棚 負け
剣道	地区新人戦	【団体】男子予選リーグ 2対2 佐工 引き分け 3対1 西海 負け 予選敗退
男子ソフトテニス	地区新人戦	団体戦 1回戦 3-0 豊玉高校 勝ち 2回戦 0-3 対馬高校 負け 個人戦 ベスト16 深水・土橋ペア
女子ソフトテニス	地区新人戦	団体戦 準優勝(決勝で平戸高校に敗退) 第3位：2年 今泉・古庄 ペア
水泳	長崎県新人大会	男子総合第3位 男子4×100mメドレーリレー 第2位 (戸上倫太郎 吉村和真 吉村尚之助 中原脩玖) 男子4×100mフリーリレー 第3位 (中原脩玖 吉村尚之助 戸上倫太郎 吉村和真) 男子200m自由形 第3位 中原脩玖 男子400m自由形 第3位 中原脩玖 男子200m平泳ぎ 第1位 吉村和真(大会新) 男子200m個人メドレー 第1位 吉村和真(大会新) 女子50m自由形 第3位 井石瑠七

11月行事予定 (予定)

- 11月 1日(月) 対外実力(2年) 対外マーク模試(3年)
- 4日(水) 後期生徒総会
- 7日(土) 第2回大学別模試(3年)
- 11日(水) 人権学習(全学年)
- 14日(土) Sプロ(3年)
- 18日(水) 歯科講話(1年)
- 21日(土) Sプロ(3年)
- 26日(木) ~12月1日(火) 二学期期末考査(1・2年)
- 28日(土) Sプロ(3年)

※コロナウイルス感染拡大防止のため、急に変更になる場合がございます。

